



東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー



特集

# 白老、ウポポイの地から 国立競技場につながれ!



【第9区間（白老）聖火ランナーの皆さん】

山本宏さん	恵庭市	山崎賢太郎さん	札幌市
阿部智志さん	札幌市	石原真衣さん	—
山崎丈弘さん	苫小牧市	三國雅人さん	札幌市
福井裕美さん	札幌市	日下部貴裕さん	—
たーちゃんさん	余市町	西山健太郎さん	帯広市
高見一秀さん	—	山道ヒビキさん	白老町



青森県から本道・函館に入った聖火リレーは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公道でのリレーが中止され、代表ランナーによる無観客の点火セレモニーのみの実施となりました。北海道1日目の6月13日、白老・ウポポイでセレモニーが行われ、北海道実行委を代表した小玉俊宏副知事、開催都市の戸田安彦白老町長、来賓の神戸典臣道議、常本照樹アイヌ民族文化財団理事長が登壇。代表ランナーの山道ヒビキさん(32)＝同財団職員＝が、聖火管理者のランタンから火をトーチに受け、無事聖火皿に点火しました。聖火は次の札幌市、そして岩手県へとつながれました。



戸田安彦白老町長

代表ランナー山道ヒビキさん



## 道民、町民の平和への思いを

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言のため、公道での聖火リレー中止の決定はとても残念ではありますが、多くの皆さまの健康と安全を最優先に考えた大会組織委員会の苦渋の判断であったと思います。白老町でも着実にワクチン接種が進められ、収束に向い一歩一歩前進している状況です。本日灯された聖火が、北海道民、白老町民の平和への願いとなり、無事に国立競技場へ届けられることを願っています。

## 多文化共生を願い

このような状況（新型コロナウイルスの感染）で北海道のランナーが走る事ができなくなり、私が代表に選ばれました。私は幼い頃からアイヌ文化に触れて育って、踊りや歌を小さいころからやってきたんです。そういう私がこのウポポイで聖火を点火するということ。これはアイヌのことわざで「天から役目なしにおろされたものは一つもない」ということだと思います。少しでもアイヌ文化を世界に発信できるのではないかと、点火のときにアイヌの「オンカミ」という礼拝のしぐさを入れました。それで伝わったのかなと思います。感無量です。